

# 響



ひびき

東信教育事務所  
〒384-0006  
小諸市与良町6-5-5  
TEL.0267-31-0251  
FAX.0267-31-0140



令和2年9月18日  
No. 5

なにを、見ているの？

なぜ、見ているの？



見えているけれど、見てはいないこともある。

そういうときは、心がほかのところを見ていたりするから。

一方で、見てはいないけれど、見えていることもある。

そういうときは、心がそれを見通しているから。

## 響 第5号 「見ること」 -もくじ-

1. 「互いの姿から刺激し合う」 初任者と5年経験者の語り合い	P 2
2. 主体的に読み深めるためのA先生の授業改善	P 3
3. 「全職員の気持ちをひとつに」信州型UD推進	P 4
4. 生涯学習課より「SNSを利用した三位一体」	P 5
5. 生涯学習課より「人権教育研修会開催のお知らせ」	P 6

コロナ禍での登校再開からこれまで、振り返る間もなく、脇見をすることもなく、前を見て突き進んできたのではないのでしょうか。

私たち教師は、様々な意味をもつ「見る」ということを大切にしています。少しでも隙間を見つけて、これまでのアクションを振り返ってしっかり見てみましょう。

東信教育事務所だより「響ひびき」これまでのバックナンバーはこちらからご覧になれます。  
本誌掲載の実践などのより詳しい内容については、東信教育事務所までお問い合わせください。





## 研修会の窓

# 互いの姿から刺激し合う

初任者研修「教師力向上研修II」キャリアアップ研修「教師力向上研修IV」  
～初任者と5年経験者の語り合い～

初任者と5年経験者が3～4人のグループに分かれて実践発表を行い、日頃の授業実践について、成果と課題を語り合いました。

## 実践発表の様子



スーパーの食品を産地別に分けて掲示する活動をしました。子どもたちは楽しそうに取り組むし、掲示した時の見栄えもいいけど、そこからどのようなことが分かるのか、うまくまとめにつながらないんです。（初任者）

調べる食品をもう少し絞ってみたらいいんじゃないかな。野菜だけにするとか・・・



子どもたちが楽しんで学んで本の紹介をしているのがわかります。立てる作品で、手に取っても読める工夫した表現方法ですね。（初任者）

この研修会すごいですね。自分が悩んでいたことの解決策がどんどん出てきますよ。

初任者の方ががんばっている様子は、刺激になりますね。初任者の方から学ぶことがたくさんありました。

## 初任者の声



5年目の先生方の授業実践から感じたことは、「子どもたちをよく見ながら授業を考えているな」ということです。ある先生は子どもたちの願いや振り返りから次時の学習課題を設定しており、とても参考にまりました。

## 5年経験者の声



初任者の先生の一生懸命な実践に感動しました。子どもとの関わり方を工夫していたり、子どもたちの意見を何とかつなげたいと奮闘していたり、子どものために熱心に授業づくりをされている姿に、自分も頑張らねばと思いました。

初任の先生方は、先輩の姿から5年先の自分を具体的に描くことができたのではないのでしょうか。また、5年目の先生方は、初任の頃を思い出すとともに、後輩に背中を見られている立場になったということを実感したのではないのでしょうか。そして、互いに、実践を通して今の自分を確かめ、これからの自分に何が必要になるのかを、見つめなおす時間にもなったと思います。

経験の違いから見えてくることを生かし、今の自分に役立てていく目を養うことは、他者から学び自分を成長させていく上で大切な力です。これからも、先輩後輩で語り合い、互いに成長できるきっかけをつくっていきましょう。



# 主体的に読み深めるためのA先生の授業改善 物語文の読解を通して

## 授業から学ぶ



A先生は、物語文を読む学習を行う際に、一人一人の子供が感じた疑問を学習問題に設定し考えることを大切にしようとしています。そのために次のような視点を大切に授業作りをしています。

### A先生の授業改善の歩み

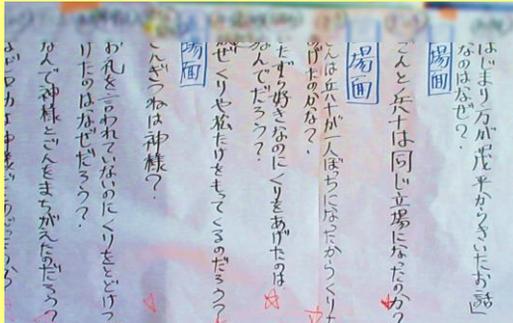
1. 一人の読み手になる教師
2. 子どもの疑問を場面ごとに整理する
3. 自由交流の時間の設定

#### 1. 教師も一人の「読み手」になる

- 自分自身が読み手となり物語を読み込む。登場人物の心情が変化していくことを叙述からつかむ。
- 教師自身が作品の面白さを感じるとともに、子どもがどのような読みの感想や疑問をもつかを想像する。

#### 2. 子どもの疑問を場面ごとに整理する

- 子どもたちの初感からの疑問を、場面ごと一つ一つ模造紙に書き、全体共有する。
- 共通する疑問を集約し、その単元で扱う疑問を複数決定する。



A先生は、実は、国語の授業を苦手感じていたそうです。けれども、自分が読者になり人物の心情の変化を面白く感じたことから、子どもも同じように読者としての気持ちをもっていることを尊重できるようになり、考えている子どもの気持ちを認め、語ることで満足する子どもの思いを満たせる授業づくりを目指ようになりました。

授業後に子どもから「面白い」というつぶやきも聞こえ始め、実感を得られるようになってきました。



### 3. 自由交流の時間の設定 読みを広げ、深める 小4国語「ごんぎつね」

その日の学習問題は、「ごんは兵十に対してどんな気持ち？」でした。Yさんは物語全体を思い返し、3の場面の終わりの叙述から「いいことをしたと思っている。なぜかという『次の日もその次の日も、ごんはくりを拾っては兵十のうちへ持って行ってやりました』と書いているから」と自分の考えをもちます。次の自由交流の時間になると、Yさんは何人もの友達と自分から話しに行き、「僕の考えどう思う？」と繰り返し確かめようとしてきました。

そしてYさんは先生へも伝えに行きます。そのとき「でも、最後どういう気持ちなの？いいことしたのに撃たれたよ」と聞き返され「兵十はわかってない。通じ合っていない」と答えます。

「いいことをした」というごんの思いと、それを理解しない兵十の気持ちとを考えるようになります。その後の全体追究の場でも、二つの考えをもちながら友達の話聞き、まとめとして「通じ合っていない。けれど、ごんは気付いてもらってうれしい」と考えていることが、つぶやきからわかりました。最後には、学習カードへ「悲しいお話だった。最初読んだときより、今読んだときの方が感動する」と書いていました。



Yさんは、学習問題に対して自分の考えをもち、友と交流する中で自分なりに読みを深めており、主体的に学習に向かっていることがわかります。A先生が、子どもたちから生まれた疑問をもとに自由に自分の思いを語ることでできる授業の実現を目指してきたひとつの成果の表れだと思います。



全職員の気持ちをひとつに  
～信州型UD推進～



東信地区には、信州型ユニバーサルデザイン（以下「信州型UD」）に基づく授業づくり学級づくり推進校が4校あり、それぞれの学校で取り組が進められています。



信州型UDについての職員研修を進める倉澤先生

I 期校（推進2年目 校外へ実践を広げる）

- 【 上田市立塩田西小学校 】
- 【 上田市立城下小学校 】

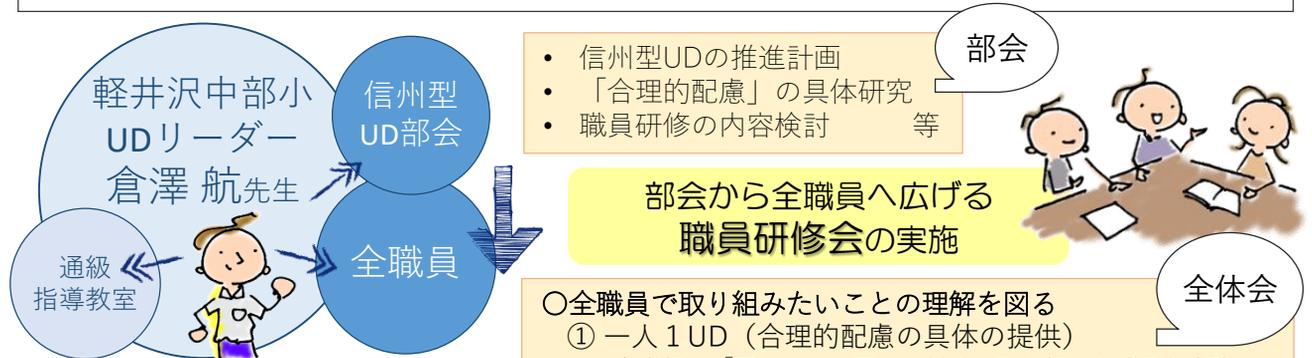
II 期校（推進1年目 校内での推進を中心に）

- 【 軽井沢町立軽井沢中部小学校 】
- 【 佐久市立野沢小学校 】

信州型UDの理解を図り、全職員の気持ちをひとつにしようとするリーダーの姿

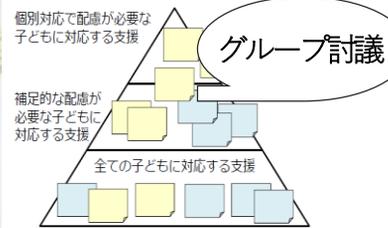
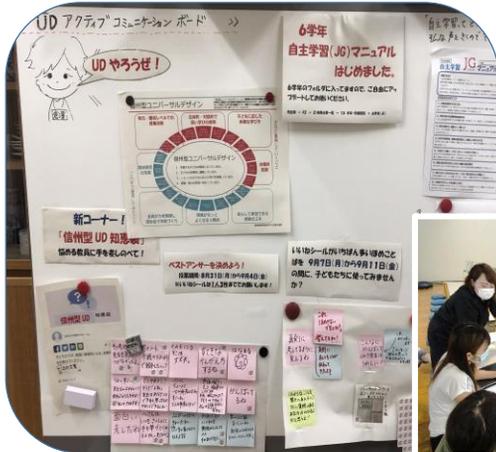
UDリーダー：倉澤 航先生（軽井沢中部小）

学校全体で取り組む「窓口」：「合理的配慮」 「安心して参加できる授業の工夫」



○全職員で取り組みたいことの理解を図る

- ① 一人1UD（合理的配慮の具体の提供）  
各学級で「困っている子」に対する取り組みと成果を実践ノートにまとめ、支援の具体の共有を図りましょう。
- ② 「信州型UD知恵袋」の充実  
職員室お茶のみ場にある掲示板に悩みや回答を書きあって交流しましょう。アイデアが積み重なっていくようにしましょう。
- ③ 中部小スタイル（仮）の作成  
授業と学級経営を振り返るチェックシートを作りましょう。



この方法は、個別の支援というより全体に対する支援になるんじゃないかな？

個別の支援は具体的に考えられるけれど、補足的な配慮が必要な子への支援って何だろう…。

グループ研修では職員を大まかなキャリアステージ別に分けて班を作り、合理的配慮を窓口、子どもに対する支援の具体について考え合いました。倉澤先生は、意図的な班編成をすることで、職員間から生まれてくる疑問や考えの違いを探っていました。また、同年代の中で肩を並べて語り合う場が、班の中の職員間や班同士がどう刺激し合うものになるのかを見守っていました。

倉澤先生が班を回ると、先生方が熱い視線を向けて疑問を投げかけていきました。UDリーダーとして、全職員の気持ちを同じ方向に向けられるように示し働きかけていくことは大切で大変な役割です。倉澤先生は、UDリーダーとしての立場を実感しその意欲を高め、他校のUDリーダーとも連絡を取り合い情報交換をしながら一層学んでいます。



上田エンジェルス：幼稚園・保育園の年中から高校3年生までの83名が所属する、うへだミックススポーツクラブのチアリーディングチーム

## 「SNSを利用した三位一体」

～コロナによる緊急事態宣言下における上田エンジェルスの練習より～

昨年、チアリーディング世界大会で部門別2位という輝かしい成績を収めた、上田エンジェルス。外出自粛期間中も世界1位を目指した練習が繰り返されていました。

上田エンジェルスでは、SNSを利用して、コーチが課題を提案。選手は与えられた課題を自分自身のやり方で解決すべく練習に励みます。家族は子どもの練習を見守りながらその様子を動画撮影してコーチにSNSで送信します。コーチは、保護者から送信されてきた動画をチェックします。写真に線を引いて「この手の角度が素晴らしい」と誉めたり、「足はこの角度まで上げるともっと良くなる！」などアドバイスをしたりします。選手は、丁寧なコーチングに導かれ、新たな課題を発見し、さらに完成度の高い演技を目指して練習に励みます。保護者の通信機器を利用していることにより、保護者もコーチの指導が手に取るように分かります。さらには、身近で子どもの練習を応援することができるのです。これがまさに、子どもの意欲や能力を最大限に引き出す三位一体（子ども・保護者・コーチ）の活動であると感じました。

## 「SNSを利用した練習のメリット」

### 子どものメリット

- ・ 家での練習が充実。個人技が上手になる。
- ・ 個人練習でもモチベーションを保てる。

### 保護者のメリット

- ・ 全員の子どもの様子が分かるので、わが子の全体の中の位置、様子も把握できる。
- ・ どんな言葉かけが子どものやる気を引き出すのかなど、子どもとの関わり方などが勉強できる。

### コーチのメリット

- ・ 子どもの指導をしながら親との繋がりが深まる。家族の思い、家庭の環境がよく分かる。
- ・ 一人一人の個人技を細かく指導することができる。



手を胸の前でクロスする時は  
後ろを向かず横向き

「SNSを利用した指導の実際の画面」



上田エンジェルスヘッドコーチ  
荒川 玲子 さん

コロナウイルス感染症の拡大で活動ができなくなった。コーチ陣は、子ども達83名を手分けして、SNSによる指導を行った。選手、保護者、コーチそれぞれ本気で練習に取り組んだ。2ヶ月間、練習動画の提出率は、ほぼ100%。信頼関係が深まり子ども達の意欲も増した。合同練習を再開して合わせてみると“できる!” 対面しなくてもできることはある。今回、コロナ禍において合同練習できなかった期間、逆境を活かすことができ本当に良かった。スポーツも社会の流れに対応していくことが大切である。様々な練習方法や楽しみ方の工夫を、子ども、保護者、コーチと共に追究していきたい。

子どもの意欲や能力を最大限に引き出す為には、子ども、保護者、コーチがそれぞれ別々に努力するのではなく、三位一体となることを教えていただきました。さらに、Withコロナの時代、ICTを活用した練習が、個の努力を支え、個を繋ぐ双方向性のある練習となり、豊かなスポーツライフを実現していく可能性の一つになることを示してくださいました。荒川玲子ヘッドコーチの逆境に屈しない力強いリーダーシップのもと、上田エンジェルスは技も心も世界一を目指して、今も練習に励んでいます。

## 兼 長野県人権教育リーダー研修会

日 時 令和2年10月12日(月)12:30～16:20

(受付開始)

会 場 佐久市佐久平交流センター  
佐久市佐久平駅南4-1本年度は分科会を行わず、**全体会のみ**とさせていただきます。

## ① アイヌの人々

13:10～14:40

演 題 「神々の謡 - 知里幸恵の自ら歌った謡 -」

講 師 二川 舞香さん (劇団ムカシ玩具)

いわさき きょうこさん  
(シンガーソングライター)19歳で亡くなったアイヌの少女「知里幸恵(ちりゆきえ)」の生涯を描いた**演劇を通して**、アイヌの人々が受けた差別と知里幸恵さんの強い思いを伝えます。

## ② 行政説明・実践発表

14:50～15:10

\* 行政説明 社会人権教育の現状と課題について (心の支援課)

\* 実践発表 「人権途上人」

実践発表者 塩澤 敏樹さん (青木村立青木小学校 支援員)

(元 上田市教育委員会 川西公民館 社会教育指導員)

## ③ 同和問題

15:10～16:10

演 題 「解放子ども会に参加させて」～親の思い 子どもは?～

講 師 白石 さだ子さん

西藤 千代子さん

子ども会へ送り出す親の気持ち、子ども会へ参加する子どもの気持ちについて自らの体験や、思いの語りから同和問題について考えます。

《申し込み》 締め切り 9月30日(水) 200名 (先着順で締め切ります)

本研修会は3密(密閉・密接・密集)をさけるように配慮して開催いたします。そのため、定員を会場の50%の人数(200名)とさせていただきます。定員に達した段階で申し込みを締め切らせていただきますのでご承知ください。お問い合わせは担当者まで。

東信教育事務所 生涯学習課 (担当:園部 勇一郎)

Tel. 0267-31-0252